

授業 科目名	地域看護学実習 (Community Health Nursing Practicum)	履修年次: 必修; 看 3・4・ 編入 3 年	単位数: 3 単位 135 時間 コード: NSP307	担当教員名: 科目責任者 佐藤紀子〔保健 師〕(研究室: 図書館棟 1) 雨宮有子〔保健師〕、細谷紀子 〔保健師〕、杉本健太郎 〔保健 師〕、松浦めぐみ 〔保健師〕
		実務経験のある教員による授業科目		

〔DP〕Ⅱ コミュニケーション能力、Ⅳ 健康づくりの実践、Ⅵ 多職種との協働
〔授業の到達目標及びテーマ〕 地域住民に対する看護活動の展開方法を理解し、多様な看護職の所属機関それぞれの役割や相互の関係性、及び連携・協働の必要性やその方法について理解できる。具体的な到達目標 1) 実習体験に基づき、公衆衛生看護の理念・目標について説明できる、2) 行政保健師、養護教諭、産業看護職が行う活動の展開方法を実習体験に基づき説明できる、3) 家族を単位とした看護援助の基本技術方法を理解し、家庭訪問の計画・実施・評価ができる、4) 実習体験を通して自己の課題および追究すべき研究課題を明確にすることができる。

〔授業の概要〕 地域における看護職の目的・意義・役割・活動方法について、実践の場面において具体的に見聞し、体験することを通じて学習する、実習形式の授業である。特に都道府県保健師、市町村保健師の活動を中心に置き、地区診断、健康教育、健康相談、家庭訪問、地区組織作り等に参加し、地域住民に果たすそれぞれの責務と連携方法を理解する。また産業従事者や学童の健康管理に関する保健師や養護教諭の活動についても、実践場面の体験を通じて理解する(下記の第3回～13回の臨地実習順序は、実習場の都合により変更あり)。本授業は、担当教員全員が保健師の実務経験に基づき学習の支援を行う。
--

キーワード: 公衆衛生看護、家庭訪問、地区活動、地域住民、連携・協働

〔授業計画〕				
回 数	日 付	テ ー マ	内 容	担当
第 1-3 回		学内オリエンテーション・演習	実習目的・目標・方法等の説明 事前学習(家庭訪問計画作成、地区診断準備) ※実習施設となる市町村の基礎情報(人口動態統計等)を事前レポートとしてまとめ、実習初日に持参すること	佐藤紀子 〔保健師〕
第 4-11 回		保健所・市町村実習	市町村保健センターおよび保健所において実習 ・事業参加 ・家庭訪問の情報収集/計画立案/実施/評価 ・地区診断/活動計画立案 ・最終カンファレンス ※保健所実習に際して、別日に指定される保健所合同講義に出席すること	雨宮有子 〔保健師〕 細谷紀子 〔保健師〕 杉本健太郎 〔保健師〕
第 12 回		産業保健実習	企業において実習	松浦めぐみ 〔保健師〕
第 13 回		学校保健実習	学校において実習	〔保健師〕
第 14-15 回		学内演習	各実習施設における体験や学びの共有と個々の学びの統合	

履修条件	地域看護学概論、地域看護学方法論Ⅰ～Ⅲ、看護技術論Ⅳ～Ⅴ、看護学入門実習、基礎看護学実習の単位を既に修得していること
予習・復習	上記※を参照
テキスト	特になし
参考書・参考資料等	最新公衆衛生看護学 総論 各論 1, 2 宮崎美砂子他著、日本看護協会出版会 「国民衛生の動向」厚生労働統計協会
学生に対する評価	実習目標の達成状況(80%)、学習態度(20%)により、総合的に評価する。 ・レポート課題の詳細や提出方法は、学内演習時間内に説明する。 ・本授業の終了時には、ポートフォリオに基づく授業参加に対する振り返りを行うこと(但し、ポートフォリオの記述内容は評価に含めない)。

授業 科目 名	看護政策論 (Nursing Policy)	履修年次： 選択：看 4 年 編 4 年	単位数： 1 単位 15 時間 コード：：NSP308	担当教員名： 科目責任者 佐藤 紀子 〔保健師〕 (研究室 図書館棟 1) 雨宮有子〔保健師〕， 細谷紀子〔保健師〕
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識，Ⅳ 健康づくりの実践，Ⅴ 健康づくりの環境の整備・改善				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 人々の健康や生活の質を保証する法律制度は、政策によって決定されている。そのため政策に関する基本的な考え方と政策形成過程を学び、看護に関連する政策に参画する意義および政策的働きかけの方法を理解する。具体的には 1) 政策と政策形成過程について説明できる、2) 看護と政策の関連について説明できる 3) 人々の健康生活に影響する政策課題について検討し、課題解決に向けた方法を提案することができる				
〔授業の概要〕 講義形式で、政策に関する基本的理論、看護職に関連する政策、保健医療福祉計画の策定と住民参加、施策化に必要な能力について学び、それを踏まえてグループ演習で、人々の健康生活に関わる政策課題を検討し、課題解決に向けた方法を提案する。本授業は、保健師の実践経験に基づき 3 名の教員で講義および演習を行う。				
キーワード：政策形成過程、保助看法、看護師等人材確保法、施策化・事業化				
〔授業計画〕				
回 数	日付	テ ー マ	内 容	担当
第 1 回	4/9 Ⅰ	政策とは何か	政策・政策形成過程とは何か、政策過程の実際	佐藤紀子 特別講義講師
第 2 回	4/9 Ⅱ	看護職にとっての政策①	看護職者の資格・処遇、マンパワーに影響を及ぼす法令・政策と課題	佐藤紀子
第 3 回	4/16 Ⅰ	看護職にとっての政策②	看護職の教育・人材育成に関わる法令・政策の歴史的変遷と課題	雨宮有子
第 4 回	4/16 Ⅱ	保健計画策定と住民参加	政策形成に係る行政保健師の特徴、政策体系および保健福祉計画策定のプロセス、計画策定における住民参加	細谷紀子
第 5 回	4/18 Ⅳ	事業化・施策化に必要な能力	思考力、情報収集・分析力、予算の仕組みの理解、アカウンタビリティ、パートナーシップ、交渉・調整力	細谷紀子
第 6 回	4/23 Ⅰ・Ⅱ	グループ演習	グループごとに人々の健康生活や看護に関わる政策的な課題を取り上げ、課題解決に向けた提案を検討する	佐藤紀子 雨宮有子 細谷紀子
第 7 回				
第 8 回	4/25 Ⅳ	全体発表	各グループの成果を発表し討議する	
履修条件		特になし（保健医療福祉制度論、地域看護学概論・方法論Ⅲの学習内容を復習しておく）		
予習・復習		予習については、適宜担当教員が指示を行う。復習は、授業で配布する資料を活用して行うこと。		
テキスト		特になし		
参考書・参考資料等		見藤隆子他著：看護職者のための政策過程入門 第 2 版—制度を変えると看護が変わる！日本看護協会出版会。 吉岡京子他著：保健医療福祉専門職のための事業化・施策化のすすめ方，クオリティケア。		
学生に対する評価		学習態度；積極性、課題の取り組み状況（45%）、最終レポート；学習内容の理解度（55%）により、評価する。 ※課題の詳細と取組方法は、授業時間内に説明する。 ※本授業終了時には、ポートフォリオに基づく授業参加に対する振り返りを行うこと（但し、ポートフォリオの記述内容は評価に含めない）。		

授業 科目名	育成期看護概論 Introduction to Maternal and Child Nursing	履修年次:	単位数:	担当教員名: 石井邦子[助産師] (研究室: 教育棟 B308) 市原真穂[看護師]
		必修: 看 2 年 編 3, 4 年	1 単位 1 5 時間 コード: NSP217	
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕Ⅰ 倫理観とプロフェッショナルリズム Ⅲ 実践に必要な知識 Ⅴ 健康づくりの環境の整備・改善				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 本授業では、子どもと子どもを産み育てる親・家族を対象とした育成期家族に対する看護を実践するための基本的知識を習得する。 1. 母性・小児の成長発達の特徴について理解する。 2. 育成期家族に対する看護の基盤となる概念について理解する。				
〔授業の概要〕 子どもと子どもを産み育てる家族の成長発達と健康を支援するための基本的知識（母性・小児の成長発達、育成期家族に対する看護の基盤となる概念、育成期家族をとりまく社会）について学修する。（本授業はオムニバス方式により行い、母性看護領域を助産師実務経験に基づき石井が、小児看護領域を看護師実務経験に基づき市原が担当する。）				
キーワード: 育成期家族、看護理論、小児の発達、母性の発達				
〔授業計画〕				
回 数	日付	テ ー マ	内 容	担当
第 1 回	4/14	母性の成長発達と看護 1	身体的母性機能の成長発達と看護	石井邦子
第 2 回	4/21	母性の成長発達と看護 2	女性のライフサイクル・心理社会的な成長発達と看護	石井邦子
第 3 回	4/28	小児の成長発達と看護 1	小児の成長発達の特徴と看護 1 (発達総論)	市原真穂
第 4 回	5/12	小児の成長発達と看護 2	小児の成長発達の特徴と看護 2 (生理機能の発達)	市原真穂
第 5 回	5/19	母性の成長発達と看護 3	リプロダクティブヘルス	石井邦子
第 6 回	5/26	育成期家族に対する看護の基盤となる概念 1	母性・小児の特徴と看護 1	石井邦子
第 7 回	6/2	小児の成長発達と看護 3	小児の成長発達と栄養	市原真穂
第 8 回 90 分	6/9	育成期家族に対する看護の基盤となる概念 2	母性・小児の特徴と看護 2	市原真穂
履修条件		特になし		
予習・復習		予習は事前課題で提示する。 復習はテキスト、配布資料、ノートの見直しをして、事後課題を提出すること。		
テキスト		小児看護学Ⅰ（改訂第 4 版）南江堂 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学概論 母性看護学[1] 医学書院		
参考書・参考資料等		授業の中で適宜紹介する。		
学生に対する評価		定期試験 70%、各回の事後課題 20%、学習態度 10%		

授業 科目名	小児看護学方法論Ⅰ Methods in Pediatric NursingⅠ	履修年次	単位数:	担当教員名: 科目責任者:市原真穂〔看護師〕 (研究室 教育棟B309) 金丸 友〔看護師〕 中山 静和〔看護師〕
		必修:看2 年	1単位30時間 コード: NSP218	
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕Ⅲ実践に必要な知識Ⅳ健康づくりの実践Ⅴ健康づくりの環境の整備・改善				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 小児看護の対象である子どもとその家族について、成長発達に伴い生じてくる身体的・心理社会的事項、および子どもと家族へのアプローチの方法を理解できることを目的とする。				
〔授業の概要〕 本授業では子どもの成長発達の特徴とセルフケア支援、成長発達をアセスメントする方法について講義と演習形式で学習する。また、健康障害をもつ子どもについて、健康障害・治療・処置による子どもの身体的・精神的反応、成長発達および生活への影響、家族の生活への影響等を教授する。(本授業はオムニバス方式により行い、看護師実務経験に基づき講義・演習を市原、金丸、中山が担当する。) キーワード: 小児の成長発達、成長発達の評価、小児保健、小児臨床看護学総論				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	担当
第1回	10/2	授業ガイダンス	授業オリエンテーション	市原真穂
第2回	10/9	子どもの成長発達と看護1	統計から見た子ども、新生児期の発達	市原真穂
第3回	10/16	子どもの成長発達と看護2	乳児期の発達と健康問題	市原真穂
第4回	10/23	子どもの成長発達と看護3	幼児期の発達と健康問題	市原真穂
第5回	10/30	子どもの成長発達と看護4	認知、社会性、生活習慣の発達と支援	市原真穂
第6回	11/6	子どもの成長発達と看護5	学童期・思春期の発達と健康問題	金丸 友
第7回	11/13	子どもの成長発達と看護6	発達が気になる小児の理解と支援	中山静和
第8回	11/20	小児医療・看護の現状	小児医療・小児看護の現状・課題	市原真穂
第9回	11/27	健康障害をもつ子どもの看護1	子どもと健康障害	市原真穂
第10回	11/27	健康障害をもつ小児の看護2	小児期に特徴的な疾患	市原真穂
第11回	11/27	健康障害をもつ小児の看護3	子どもの症状の特徴、臨床推論、呼吸苦、脱水、体温の異常、けいれん	市原真穂
第12回	11/27	健康障害をもつ小児の看護4	入院、検査・処置を必要とする子どもと家族への看護	中山 静和
第13回	12/4	健康障害をもつ小児の看護5	日常的によくある症状とホームケア	金丸 友
第14回	12/4	健康障害をもつ小児の看護6	発熱、嘔吐、下痢、発疹	金丸 友
第15回	12/11	健康障害をもつ小児の看護7	急性状態の小児の看護展開	市原真穂
第16回	12/11	健康障害をもつ小児の看護8	感染症に罹患した小児の看護展開	市原真穂
第17回	12/18	小児の食事の援助	子どもの食べる機能、食行動の発達と看護(特別講義)	特別講義講師
第18回	1/8	成長・発達のアセスメント1	発達の評価、評価方法の演習	市原・金丸・中山
第19回	1/8	成長・発達のアセスメント2	成長の評価、身体計測の技術演習	市原・金丸・中山
第20回	1/22	慢性疾患をもつ小児の看護	慢性疾患をもつ子どもと家族の看護(特別講義)	特別講義講師
第21回	1/29	成長・発達のアセスメント3	発達の評価、評価方法の演習	市原・金丸・中山
第22回	1/29	成長・発達のアセスメント4	成長の評価、身体計測の技術演習	市原・金丸・中山
履修条件		特になし		
予習・復習		予習:テキストを熟読すること。復習:授業時に指示する。		
テキスト		小児看護学Ⅰ(改訂第4版)南江堂、小児看護学Ⅱ(改訂第4版)南江堂		
参考書・参考資料等		授業の中で適宜紹介する。		
学生に対する評価		定期試験(90%)、課題(5%)、学習態度(5%)により、総合的に評価する。		

授業 科目名	小児看護学方法論Ⅱ Methods in Pediatric Nursing Ⅱ	履修年次 必修：看 3	単位数： 1 単位 30 時間	担当教員名： 科目責任者市原真穂〔看護師〕 (研究室 教育棟 B309) 金丸 友〔看護師〕 中山 静和〔看護師〕
		実務経験のある教員による授業科目	コード：NSP219	
〔DP〕Ⅱコミュニケーション能力 Ⅲ実践に必要な知識 Ⅳ健康づくりの実践				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 健康障害をもつこどもの看護について、多様な側面・状況から理解を深める。こどもの発達段階・健康状態・治療方法を考慮した小児看護の知識と技術を習得する。				
〔授業の概要〕 本授業では、健康障害をもつ子どもに関する多様な側面・状況について講義形式により教授し、多様な場で展開される小児看護の役割・特徴について学習する。また演習では、対象の発達段階や個別性に応じたアセスメントについてグループワークにより学習し、臨床で必要となる基礎的な小児看護の技術について体得する。(本授業はオムニバス方式、一部共同により行い、看護師実務経験に基づき講義・演習を市原、金丸、中山が担当する。)				
キーワード：小児臨床看護、健康障害をもつ小児、多様な状況における看護、看護過程、小児看護技術				
〔授業計画〕				
回 数	日付	テ ー マ	内 容	担当
第1回	6/4 2 限	授業ガイダンス 演習ガイダンス	健康障害のあるこどもの看護過程 模擬事例への看護展開のガイダンス 技術演習のガイダンス	市原真穂
第2回	6/5 1 限	小児疾患の特徴と治療	代表的なこどもの疾患の特徴と治療 (特別講義)	特別講義講師
第3回	6/11	小児に特有な疾患のあるこども と家族の看護	小児がん、終末期のこどもと家族への看護 (特別講義)	特別講義講師
第4回	6/11	慢性疾患のあるこどもと家族への 看護	在宅での療養行動が必要なこどものセルフ ケア、家族への看護	金丸 友
第5回	6/18	医療的ケア、重症心身障害の あるこどもと家族への看護	障害による成長・発達への影響、アセスメ ントと看護、家族支援	市原真穂
第6回	6/18	特別な状況にあるこどもと家族 への看護	手術を受けるこどもと家族への看護 虐待を受けたこどもと家族への看護	市原真穂
第7回	6/25	事例によるこどもの看護展開 1	模擬事例への看護展開のグループワーク	市原・金丸・ 中山
第8回	6/25	こどもの看護技術演習 1	バイタルサイン測定、点滴	
第9回	7/2	事例によるこどもの看護展開 2	模擬事例への看護展開のグループワーク	市原・金丸・ 中山
第10回	7/2	こどもの看護技術演習 2	緊急時の対応	
第11回	7/9	事例によるこどもの看護展開 3	模擬事例への看護展開のグループワーク	市原・金丸・ 中山
第12回	7/9	事例によるこどもの看護展開 4	模擬事例への看護計画の発表と共有	
第13回	7/16	こどもの看護技術演習 3	酸素吸入、吸引、経管栄養	市原・金丸・ 中山
第14回	7/16	こどもの看護技術演習 4	検査・処置の時の介助、ケア	
第15回	7/23	こどもの看護技術演習 5	技術評価	市原・金丸・ 中山
履修条件		特になし		
予習・復習		予習：テキストを熟読すること。復習：授業時に指示する。 演習には、演習要項を活用し予習・復習をすること。		
テキスト		小児看護学Ⅰ（改訂第4版）南江堂、小児看護学Ⅱ（改訂第4版）南江堂		
参考書・参考資料等		授業の中で適宜紹介する		
学生に対する評価		定期試験（70%）、事例課題（15%）、技術課題（10%） 学習態度（5%）により、総合的に評価する。		

授業 科目名	小児地域ケア論 Child Health and Community Care	履修年次: 選択：看3年	単位数: 1単位 15時間	担当教員名: 科目責任者 市原真穂〔看護師〕 (研究室 教育棟 B309) 金丸友〔看護師〕 中山静和〔看護師〕
			コード: NSP220	
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕Ⅲ実践に必要な知識 Ⅳ健康づくりの実践 Ⅴ健康づくりの環境の整備・改善				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 本授業では、少子化の現在においてこどもの健康を守り、健康を増進し、成長・発達を促進するために地域で行われている支援の実際を学ぶ。さらに、疾患や障害をもつこどもへの地域における支援の課題について学ぶ。				
〔授業の概要〕 講義では、支援の場や対象となる小児の特徴から、いくつかのテーマに沿って教授する。講義には、地域での小児ケアを 実践している看護職者による特別講義も含まれる。授業のまとめとして、関心のある課題についてレポートを作成する。 (本授業はオムニバス方式により行い、看護師実務経験に基づき市原、金丸、中山が担当する。)				
キーワード: 慢性疾患患児、医療的ケア、保育所、小児科クリニック、家族支援				
〔授業計画〕				
回 数	日付	テ ー マ	内 容	担当
第1回	4/10	授業オリエンテーション 地域における小児とその家族へのケ ア	疾患や障害のある子どもとその家 族への地域における支援の現状や 制度と課題	市原真穂
第2回	4/17	疾患や障害がある子どもと家族への 移行支援	疾患や障害がある子どもと家族の 地域や在宅への移行期支援の実際	市原真穂
第3回	4/24	慢性疾患のある子どもと家族への家 庭・地域・学校における支援	1型糖尿病等の慢性疾患のある子 どもと家族への家庭・地域・学校 における支援	金丸 友
第4回	5/1	小児科クリニックの役割と看護	地域における小児科クリニックの 看護の実際 (特別講義)	特別講義講師
第5回	5/8	病児保育・病後児保育の役割と看護	病児保育・病後児保育の現状と看 護の実際	中山静和
第6回	5/15	保育所での看護職者の役割	保育所での看護職者の役割 (特別講義)	特別講義講師
第7回	5/22	学校教育における医療的ケアへの対 応	学校教育における医療的ケアへの 対応の実際と課題	市原真穂
第8回	5/29	地域における小児のケア課題とその 対応	課題への対応にむけた演習	市原真穂
履修条件		特になし		
予習・復習		予習は指定した資料を精読して参加すること。 復習は授業内に示す。		
テキスト		小児看護学Ⅰ (改訂第4版) 南江堂、小児看護学Ⅱ (改訂第4版) 南江堂		
参考書・参考資料等		授業の中で適宜紹介する。		
学生に対する評価		課題レポート (80%)、学習態度 (20%) により総合的に評価する。		

授業 科目名	母性看護学方法論Ⅰ Methods in Maternal NursingⅠ	履修年次: 必修: 看 2 年	単位数: 1 単位 3 0 時間	担当教員名: 石井邦子[助産 師] (研究室: 教育棟 B308) 川城由紀子[助産師], 北川良 子[助産師], 川村紀子[助産 師], 竹中奈々[助産師]
		実務経験のある教員による授業科目	コード: NSP221	
〔DP〕Ⅲ実践に必要な知識Ⅳ健康づくりの実践Ⅰ倫理観とプロフェッショナリズム				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 周産期にある母子・家族に対する看護実践を行うための基礎的知識と基本技術を修得する。 1. 妊娠～分娩期にある母子・家族の身体・心理社会的特徴を理解し、母性看護の役割と機能を説明できる。 2. 妊娠～分娩期にある母子・家族の心身の健康状態のアセスメントと基本的な援助技術を理解し、実施できる。 3. 新生児の成長発達と身体的特徴を理解し、母性看護の役割と機能を説明できる。 4. 新生児の成長発達と身体的特徴のアセスメントと基本的な援助技術を理解し、実施できる。				
〔授業の概要〕 周産期にある母子と家族に対する看護実践を行うための基礎的知識と基本技術（妊娠～分娩期にある母子と家族及び新生児の特徴と主な健康問題、看護の役割と機能）について学修し、妊娠～分娩期にある母子・家族及び新生児のアセスメント技術および健康問題の解決や健康の保持増進をめざした看護の基本的技術を修得する。（本授業は共同担当により行い、担当教員全員が助産師実務経験に基づき担当する。）				
キーワード: 母性看護、妊娠期、分娩期、新生児期、周産期家族、基本的援助技術				
〔授業計画〕				
回 数	日付	テ ー マ	内 容	担当
第 1 回	11/20	妊娠期の特徴と看護 1	妊婦・胎児の身体・心理社会的特徴と看護の実際	石井邦子
第 2-3 回	11/27	妊娠期の特徴と看護 2	妊婦・胎児の身体・心理社会的特徴と看護の実際	石井邦子
第 4-5 回	12/4	分娩期の特徴と看護 1	産婦・胎児の身体・心理社会的特徴と看護の実際	北川良子
第 6-7 回	12/11	新生児期の特徴と看護 1	新生児の身体・心理社会的特徴と看護の実際	川村紀子
第 8-9 回	12/18	周産期家族の特徴と看護	周産期家族の心理社会的特徴と看護の実際	川城由紀子
第 10-13 回	1/8 1/22	妊娠期の特徴と看護 3 分娩期の特徴と看護 2	妊婦・産婦・胎児のアセスメント、基本的援助技術	石井, 北川, 川城, 川村, 竹中 (授業協力者)
第 14-15 回	1/29	新生児期の特徴と看護 2	新生児のアセスメント、基本的援助技術	川村, 竹中 川城, 北川, 石井 (授業協力者)
履修条件		特になし		
予習・復習		予習は事前課題で提示する。 復習はテキスト、配布資料、ノート、提出物を見直して、事後課題を提出すること。		
テキスト		系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学概論 母性看護学[1] 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学[2] 医学書院		
参考書・参考資料等		授業の中で適宜紹介する		
学生に対する評価		定期試験 50%, 技術演習 20%, 事後課題及び提出物 20%, 学習態度 10%		

授業 科目名	母性看護学方法論Ⅱ Methods in Maternal NursingⅡ	履修年次: 必修: 看3年	単位数: 1 単位 3 0 時間	担当教員名: 石井邦子[助産 師] (研究室: 教育棟 B308) 川城由紀子[助産師], 北川良 子[助産師], 川村紀子[助産 師], 竹中奈々[助産師]
		コード: NSP222		
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕Ⅲ実践に必要な知識 Ⅳ 健康づくりの実践 Ⅰ 倫理観とプロフェッショナルリズム				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 周産期にある母子・家族に対する看護実践を行うための基礎的知識と基本技術を修得する。 1. 産褥期にある母子・家族の身体・心理社会的特徴を理解し、母性看護の役割と機能を説明できる。 2. 周産期にある母子・家族に対する看護目標設定や看護計画立案の方法を説明できる。 3. 周産期にある母子・家族の心身の健康状態のアセスメントと基本的な援助技術を理解し実施できる。				
〔授業の概要〕 周産期にある母子・家族に対する看護実践を行うための基礎的知識と基本技術（産褥・新生児期にある母子と家族及び新生児の特徴と主な健康問題、アセスメント技術、看護過程展開技術）について学修し、看護目標設定、看護計画立案、健康問題の解決や健康の保持増進をめざした看護の基本的技術を修得する。（本授業は共同担当により行い、担当教員全員が助産師実務経験に基づき担当する。）				
キーワード: 母性看護、産褥期、看護過程、基本的援助技術				
〔授業計画〕				
回 数	日付	テ ー マ	内 容	担当
第1-2回	4/15	産褥期の特徴と看護1	褥婦の身体・心理社会的特徴と看護の実際	川城由紀子
第3-4回	4/22	産褥期の特徴と看護2	褥婦のアセスメント、基本的援助技術	川城, 川村, 竹中 石井, 北川
第5-6回	5/13	母性看護における看護過程1	母性看護における看護過程の展開	石井, 竹中
第7-8回	5/20	母性看護における看護過程2	看護計画・技術試験準備 (グループワーク)	石井, 竹中 川城, 川村, 北川
第9-10回	5/27	母性看護における看護過程3	看護診断・看護計画(発表)	竹中, 石井 川城, 川村
第11-14回	6/3 6/10	母性看護における基本技術	アセスメント、基本的援助技術 (チェック)	石井, 川城, 川村
第15回	6/17	母性看護における看護過程4	看護計画(発表)	竹中, 石井 川城, 川村
履修条件		特になし		
予習・復習		予習は事前課題で提示する。 復習はテキスト、配布資料、ノート、提出物を見直し、事後課題を提出する。		
テキスト		系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学〔2〕 医学書院		
参考書・参考資料等		授業の中で適宜紹介する		
学生に対する評価		定期試験(50%), 技術試験(20%), 事後課題及び提出物(20%), 学習態度(10%)		

授業 科目名	母性看護学実習 Maternal Nursing Practicum	履修年次 必修： 看3・4年	単位数：2単位 90時間 コード：NSP309	担当教員名：川城 由紀子 [助産師]（研究室：教育棟 B302）、竹中 奈々[助産師]、 石井 邦子[助産師]、北川 良 子[助産師]、川村 紀子[助産 師]
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識、Ⅳ 健康づくりの実践、Ⅱ コミュニケーション				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 妊産褥婦・新生児の特徴を理解し、対象およびその家族の成長発達を促進し健康レベルに応じた援助を実践するための基礎的能力を修得する。				
1) 妊産褥婦・新生児およびその家族の特徴を理解し、発達段階や健康レベルに応じた看護ニーズが判断できる。2) 対象の看護ニーズを充足するための看護を実践できる。3) 対象に実践された看護について客観的に評価できる。4) 育成期家族の権利や価値観を尊重した援助について考え、援助関係の構築に向けた行動を取ることができる。5) 看護専門職としての責任を自覚し、看護者間および他職種との連携の在り方について考えることができる。6) 自己の学習過程を客観的に評価し、今後の課題を見出すことができる。				
〔授業の概要〕 3年次後期または4年次前期に開講する。これまでに履修した関連科目の知識・技術を活かし学習する。初日にオリエンテーションと技術演習を行う。周産期関連施設では妊婦や母子を受け持ち、看護の見学や実践を通して母性看護の実践を理解する。学内においては、ケースカンファレンスと対象の権利や価値観について、討議を通して学びを深める。また、個別面接を行う。これらの学習から実習目的・目標を達成することを目指す。教員は周産期医療機関における助産師の実務経験もふまえ、実習における教育・支援を行う。				
キーワード：母性看護、周産期、看護過程、看護実践、臨地実習				
〔授業計画〕				
回数	テーマ	内 容		担当
第1・2回	学内オリエンテーション	・オリエンテーション ・技術演習 ・自己の学習課題についての学習		川城 由紀子 竹中 奈々 石井 邦子 北川 良子 川村 紀子
第3～8回	施設実習	・周産期関連施設における看護の実践 ・施設カンファレンス		
第9回	ケースレポート	・ケースレポートの作成		
第10回	まとめ・面接	・ケースカンファレンス ・育成期家族における権利や価値観 ・自己評価 ・個人面接		
履修条件		育成期看護概論、看護技術論Ⅳ～Ⅴ、母性看護学方法論Ⅰ～Ⅱ、看護学入門実習、基礎看護学実習の単位を既に修得済みであること		
予習・復習		予習は、育成支援看護概論、母性看護学方法論Ⅰ・Ⅱでの既習学習内容を十分確認しておくこと。復習は、実習記録やケースレポートを見直しすること。		
テキスト		特になし		
参考書・参考資料等		関連科目で使用したもの、および必要に応じて適宜紹介する		
学生に対する評価		実習目標の到達状況（70%）、レポート（10%）、実習態度（20%）		

授業 科目名	小児看護学実習 Pediatric Nursing Practicum	履修年次 必修： 看3年、看4年	2 単位 90 時間 コード：NSP310	担当教員名： 科目責任者 市原真穂〔看護師〕 （研究室 教育棟 B309） 金丸 友〔看護師〕 中山 静和〔看護師〕
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕Ⅰ倫理観とプロフェッショナリズム Ⅱコミュニケーション能力 Ⅳ健康づくりの実践				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 小児の特徴を理解した上で、こどもおよびその家族の成長発達を促進する援助や健康レベルに応じた援助を判断し実践するための基礎的能力を身につけることを目的とする。				
〔授業の概要〕 小児の入院施設では、入院中の小児の個別性や看護ニーズをアセスメントし、必要な援助を計画し、実践・評価する。また、こどもと家族の権利や価値観を尊重した援助について、自己の実践を振り返りながら学ぶ。障害児入所施設における見学実習では、発達上の課題をもつ小児に必要な看護援助、看護者間および多職種間の連携について学ぶ。また、保育施設実習では、健康な子どもの生活場面での参加観察から子どもの成長発達の特徴を理解し、成長発達を促進する援助について学ぶ。（本授業はオムニバス方式により行い、看護師実務経験に基づき臨地実習・学内演習を市原、金丸、中山が担当する。）				
キーワード：小児病棟、看護実践、対象者の権利・価値観、小児リハビリテーション、成長発達の促進				
〔授業計画〕				
回 数	テ ィ マ	内 容		担当
第1回	学内オリエンテーション	オリエンテーション 技術演習		市原真穂 金丸 友 中山静和 授業協力者
第2～5回	小児病棟実習	小児病棟における受け持ちのこどもに必要な看護を実践する		
第6回	障害児施設実習	障害児施設で、長期入所、短期入所、レスパイトにおける実践、および子どもへのリハビリテーションの実際を見学する		
第7～9回	保育施設実習	保育所等において、子どもの日常生活場面での様子ややりとりを通して成長・発達を促進する援助を考察する。		
第10回	グループディスカッションとまとめ	各実習における学びの共有 振り返りと意味付けによる個々の学びの統合		
履修条件		育成期看護概論、看護技術論Ⅳ～Ⅴ、小児看護学方法論Ⅰ・Ⅱ、看護学入門実習、基礎看護学実習の単位を既に修得していること		
予習・復習		予習：実習要項における演習資料の事前学習を行うこと。また、関連科目の授業資料、実習に関連した参考図書等を読み、関連技術の振り返りをしておくこと。 復習：実習で不足していた知識・技術に関連した参考図書等で学習すること。		
テキスト		特になし		
参考書・参考資料等		関連科目で使用したもの、および必要に応じて適宜紹介する		
学生に対する評価		実習目標（別紙）の到達状況により総合的に評価する。		